

# 大豆圃場へも灌水！

今年は、6月が低温・日照不足で推移したことから、大豆の初期生育が取れておらず、草丈が短く、分枝も少なくなっております。また、7月に入ってから好天が続き、気温が高く、乾燥しすぎている圃場が見られます。今後も高温が続く確率が高いため、排水対策が万全なほ場については、灌水を検討してください。高温時の灌水は、根痛みの原因となるので、朝夕の涼しい時間帯に行ってください。

## ◆虫害対策

①ウコンノメイガの要防除水準 … 40～60株の葉巻数を調査し、茎あたり平均1.3個以上は早期に防除を行いましょう。

### 【ウコンノメイガの防除薬剤】

薬剤名	倍率	散布量
サイアノックス粉剤	-	4kg
スミチオン乳剤	1000倍	150～300ℓ
トレボン乳剤		



★上写真：ウコンノメイガ(成虫)

★下写真：葉巻している状況



★下写真：葉巻の中(幼虫)



## ②吸汁性カメムシ類

昨年同様に、吸汁性カメムシ類の発生が多くなっていることから、着莢期(開花後2～3週間)に圃場をよく観察し、必要に応じて防除(アグロスリン乳剤、トレボン粉DL・乳剤など)を行って下さい。